Microsoft. NET Framework インストール手順

【1. はじめに】

以下のバージョンより、@dream をご利用される際には「Microsoft. NET Framework 2.0」 以降のバージョンと「Microsoft. NET Framework 4」が必要となります

・@dream-Progre 売買版 Ver.4 以降、@dream-Progre 賃貸版 Ver.4 以降

オペレーションシステムが Windows Server 2012/ Windows Server 2012 R2/ Windows Server 2016/ Windows Server 2019 の場合は、以下の章を参照してください。

【2. Windows Server 2012/ Windows Server 2012 R2/ Windows Server 2016/Windows Server 2019 への. NET Framework 3.5 インストールについて】

※「Microsoft. NET Framework2.0」以上がインストールされていない場合、@dream を 起動すると下図のようなエラー画面が表示されます。

Autoup.e	xe - アプリケーション エラー 🗙
8	アプリケーションを正しく初期化できませんでした (0xc0000135)。[OK] をクリックしてアプリケーションを終了してください。
	ОК
Autoup.ex	eNET Framework の初期化エラー
8	このアプリケーションを実行するには、最初に以下の NET Framework バージョンのいずれかをインストールする必要があります。 v2.050727 NET Framework の適切なバージョンの取得方注に閉しては、アプリケーション発行者に聞い合わせてくだざい。

Dyna	micHP.exe - NET Framework の初期化エラー	×
8	このアプリケーションを実行するには、最初に以下の NET Framework バージョンのいずれかをインストールする必要がありま v4.0.30319 NET Framework の適切なバージョンの取得方法に関しては、アプリケーション発行者に問い合わせてください。	đ .
	C OK	

OK .

- 【2. Microsoft. NET Framework インストール確認方法】をご参考の上、必要な Framework がインストールされていない場合はインストール手順に従い、ご利用される PC にインストールを行ってください。
 - 2. Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2016/Windows Server 2019 への. NET Framework 3.5 インストールについて

②その他オプションソフトのインストール、@dream データ移行、全ての作業が完了後、
 「スタート」→「すべてのプログラム(P)」→「Windows Update」をクリックし、
 Windows を最新の状態に保ってください。

<u>. NET Framework および OS を最新の状態に更新してください。</u>

優先度の高い更新ブログラム これは、システム全体に関わる更新ブログラムまたは複数の問題を解決する更新ブログラム 更新ブログラムとは別にインストールする必要があります。 まず、この更新ブログラムをインストールし、その後ホーム ページに戻って、他に傷 更 新ブログラムが必要でないか確認することをお勧めします	. NET Framework2.0~3.5(Service Pack 含む) および OS の Service Pack を全て更新して
Microsoft Windows Server 2003	
 E. NET Version 2.0 ~ 3.5 用 Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1 び .NET Framework 3.5 ファミリ更新ブログラム (KB951847) x86 ダウンロード サイズ: 69.2 MB, 2 分 Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1 は、.NET Framework 2.0、 上で過去提供された多数の新機能や、.NET Framework 2.0 と .NET Framewor ブロンボーネントにされてこれまで提供されてきたサービス更新ブログラムすべてを含む 更新ブログラムです。.NET Framework 3.5 ファミリ更新ブログラムでは、アブリケー 換性に関する重要な更新が行われています。この Service Pack と更新プログラムの は、.NET Version 2.0 ~ 3.5 に適用可能です。 詳細 	. およ 3.0、3.5 k 3.0 のサ :、累積的な ションの互 組み合わせ
Microsoft Windows Server 2003	
 ✓ □ Microsoft .NET Framework 4 用セキュリティ更新プログラム、Windows Windows Server 2003 x86、Windows Vista x86、Windows 7 x8 Windows Server 2008 x86 向け (KB2656351) ダウンロード サイズ: 5.4 MB, < 1分 認証されていない リモートの悪意のあるユーザーが、お使いのシステムのセキ 害して、そのシステムを制御できるというセキュリティの問題が発見されました。 ログラムをインストールすると、お使いのシステムを保護できます。インストール ステムの再起動が必要になる場合があります。 詳細 ■ この更新プログラムを非表示にする 	3 XP x86、 6 および コリティを侵 この更新ブ 後コま、シ
<u>\</u>	.NEI Framework4.U(Service Pack 宮む)を最新に
	更新してください

【2. Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2016/ Windows Server 2019 への.NET Framework 3.5 インストールについて】

※手順はWindows Server 2012/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2016 /Windows Server 2019 で共通です。

はじめに

.NET Framework 4.XX は OS に含まれており、オペレーティング システムと共にコンピ ューターにインストールされますので、.NET Framework 4(または、.NET Framework 4 Client Profile)をインストールする必要はありません。

ただし、.NET Framework 3.5はOSと共に自動的にインストールされません。 @dream-Progre を Windows Server 2012/ Windows Server 2012 R2/ Windows Server 2016 で起動するには、.Net Framework 3.5をインストールする必要があります。 以下の手順に従ってお使いのサーバーにインストールを行ってください。

※インストール作業は Administrator 権限を与えているユーザーで行ってください。

Microsoft.Net Framework 3.5 のインストールを行う

まず、サーバーの CD ドライブに Windows Server 2012/ Windows Server 2012 R2/ Windows Server 2016/ Windows Server 2019 の OS ディスクを挿入しておきます。

次にタスクバーの①をクリックし、サーバーマネージャーを起動します。

※画像はWindows Server 2012 のものです。Windows Server 2016/Windows Server 2019 では画面の見た目が異なりますが、手順は同じです。



役割と機能の追加ウィザードが表示されますので、「サーバーの選択」をクリックします。 選択後、「機能」が選択可能になりますので、選択してください。

a	役割と機能の追加ウィザード
開始する前に	対象サーバー
開始する前に インストールの種類 サーバーの違訳 サーバーの役割 機能 確認 結果	このウィザードを使用すると、役割、役割サービス、または機能をインストールできます。ドキュメントの共有や Web サイト のホストなどの組織のコンビューティング ニーズに応じて、インストールする役割、役割サービス、または機能を決定しま す。 役割、役割サービス、または機能を削除するには、次の手順を実行します: 役割と機能の削除ウィザードの起動 続行する前に、次のタスクが完了していることを確認してください。 ・ 管理者アカウントに強力なパスワードが設定されている ・ 静的 IP アドレスなどのネットワークの設定が構成されている ・ Windows Update から最新のセキュリティ更新プログラムがインストールされている 前提条件が完了していることを確認する必要がある場合は、ウィザードを閉じて、それらの作業を完了してから、ウィザードを再度実行してください。 焼行するには、[次へ] をクリックしてください。
	<前へ(P) 次へ(N) > インストール(I) キャンセル

機能の一覧から「.Net Framework 3.5 Features」にチェックを入れます。 チェック後、「次へ」をクリックしてください。

b	役割と機能の追加ウィザード	_ _ X
 入機能の遅択 開始する前に インストールの種類 サーバーの選択 サーバーの役割 機能 確認 精果 	役割と機能の追加ウィザード 選択したサーバーにインストールする機能を 1 つ以上選択します。 機能 ▶ ♥ <u>NET Framework 3.5 Features</u> ^ ■ II.Locker ドライブ暗号化 ■ BitLocker ドライブ暗号化 ■ BitLocker ドライブ暗号化 ■ BitLocker ドライブ暗号化 ■ FranchCache ■ HTTP プロキシを経由した RPC ■ IP アドレス管理 (IPAM) サーバー ■ ISNS サーバー サービス	
	LPR ポートモニター Management OData IIS 拡張機能 Media Foundation NFS ウライアント RAS 接続マネージャー管理キット (CMAK) RDC (Remote Differential Compression) Circula FOO/ID Condition NE (Remote Differential Compression) Signature Circula FOO/ID Condition NE (Remote Differential Compression) NE (Remote Differential Compression) NE (Remote Differential Compression) Signature NE (Remote Differential Compression) Remote Differential Compression NE (Remote Differential Compression) Signature NE (Remote Differential Compression) Signature NE (Remote Differential Compression) NE (Remote Differential Compression) Signature Signature Signature Signature Signature Signature Signature Signatur)> (1>21-1/(I) +r>tu

インストールオプションの確認画面が表示されますので、画面下部の「代替ソースパス の指定」リンクをクリックしてください。

B	役割と機能の追加ウィザード	_ 🗆 🗙	
インストール オプシ	ョンの確認	対象サーバー	
▲ 代替ソース パスを指定する必	要がありますか?1 つ以上のインストールの選択項目がインストール先サーバーにないソース ファイ	ルです。サーバ··· ×	
開始する前に	選択したサーバーに次の役割、役割サービス、または機能をインストールするには、[インストー	ル] をクリックしてください。	
インストールの種類	□ 必要に応じて対象サーバーを自動的に再起動する]	
サーバーの選択	オプションの機能(管理ツールなど)は、自動的に選択されるため、このページに表示されてい らのオプションの機能をインストール」ない場合は「前へ」を力いめして、チェックボックフをオフ	る可能性があります。これ	
サーバーの役割			
機能	.NET Framework 3.5 Features		
確認	.NET Framework 3.5 (.NET 2.0 およひ 3.0 を言む)		
結果			
	構成設定のエクスポート 代替ソース バスの指定		
	<前へ(<u>P</u>) 次へ(<u>N</u>) > インスト	ル(I) ≠ャンセル	

代替ソースのパスを指定する画面が表示されます。

OS ディスクを CD ドライブに挿入している場合、パス入力欄に自動的に代替ソースのパ

スが入力されていますので、「OK」をクリックしてください。

La 役割と機能の追加ウィザード X			
代替ソース パスの指定			
一部のサーバーに、すべての役割、役割サービス、または機能を追加するために必要なすべてのソース ファイルがない可能性があ ります。ソース ファイルがインストールされていないか、オペレーティング システムのインストール後に削除された可能性があります。			
役割または機能をインストールするサーバーに必要なすべてのソース ファイルがない場合、Windows Update、またはグループ ポリシーで指定されている場所からファイルを取得できる可能性があります。			
また、対象サーバーにリソース ファイルがない場合は、リソース ファイルの代替パスを指定することもできます。ソース パスまたはファ イル共有は、Everyone グループに読み取りアクセス許可を与えるか(セキュリティ上の理由からお勧めしません)、または対象 サーバーのコンピューター(ローカル システム) アカウントに読み取りアクセス許可を与える必要があります。 つまり、ユーザー アカウン トにアクセスを許可しても不十分です。			
次の例は有効なソース ファイル バスです。対象サーバーはローカル サーバーで、E: ドライブには Windows Server インストー ル メディアが挿入されています。			
.NET Framework 3.5 機能のソース ファイルは標準インストールの一環としてはインストールされていませんが、サイド バイ サイ ド ストア (SxS) フォルダーにあります。 E:¥Sources¥SxS¥			
他の機能のソース ファイルは、Install.wim ファイルにあります。 パスに WIM: プレフィックスと、ソース ファイルの取得元イメージの インデックスを示すサフィックスを追加してください。 次の例では、インデックスは 4 です。 WIM:E:¥Sources¥Install.wim:4			
パス: E:¥Sources¥sxs¥			
OK キャンセル			

OS ディスクを CD ドライブに挿入していない場合は、入力欄は以下のようになりますの で、OS ディスクを挿入し、パス入力欄に CD ドライブ: ¥Sources¥sxs¥と入力し、OK をク リックしてください。

≧ 役割と機能の追加ウィザード	¢		
代替ソース パスの指定			
一部のサーバーに、すべての役割、役割サービス、または機能を追加するために必要なすべてのソース ファイルがない可能性があ ります。ソース ファイルがインストールされていないか、オペレーティング システムのインストール後に削除された可能性があります。			
役割または機能をインストールするサーバーに必要なすべてのソース ファイルがない場合、Windows Update、またはグループ ポリシーで指定されている場所からファイルを取得できる可能性があります。			
また、対象サーバーにリソース ファイルがない場合は、リソース ファイルの代替バスを指定することもできます。 ソース パスまたはファ イル共有は、Everyone グループに読み取りアクセス許可を与えるか (セキュリティ上の理由からお勧めしません)、または対象 サーバーのコンピューター (ローカル システム) アカウントに読み取りアクセス許可を与える必要があります。 つまり、ユーザー アカウン トにアクセスを許可しても不十分です。			
次の例は有効なソース ファイル パスです。対象サーバーはローカル サーバーで、E: ドライブには Windows Server インストー ル メディアが挿入されています。			
.NET Framework 3.5 機能のソース ファイルは標準インストールの一環としてはインストールされていませんが、サイド バイ サイ ド ストア (SxS) フォルダーにあります。 E:¥Sources¥SxS¥			
他の機能のソース ファイルは、Install.wim ファイルにあります。 パスに WIM: プレフィックスと、ソース ファイルの取得元イメージの インデックスを示すサフィックスを追加してください。 次の例では、 インデックスは 4 です。 WIM:E:¥Sources¥Install.wim:4			
パス: ギギサーバー名ギバスギソース ファイル			
OK キャンセル			

OK クリック後、インストールオプションの確認画面に戻りますので、「インストール」 をクリックしてください。

a	役割と機能の追加ウィザード	_ D X
インストール オプシ	コンの確認	対象サーバー
▲ 代替ソース パスを指定する。	3要がありますか? 1 つ以上のインストールの選択項目がインストール先サーバーにないソース フ	ルーン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
開始する前に	選択したサーバーに次の役割、役割サービス、または機能をインストールするには、[インス	トール] をクリックしてください。
インストールの種類	○ 必要に応じて対象サーバーを自動的に再起動する	
サーバーの選択 サーバーの役割	オプションの機能(管理ソールなど)は、自動的に選択されるため、このページに表示され らのオプションの機能をインストールしない場合は、[前へ] をクリックして、チェック ポックスを	ている可能性があります。これ オフにしてください。
機能	.NET Framework 3.5 Features	
確認 結果	.NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む)	
	構成設定のエクスポート 代替ソース パスの指定	
	<前へ(<u>P</u>) 次へ(<u>N</u>) > イン	バストール(<u>I)</u> キャンセル

Microsoft.Net Framework 3.5のインストールが開始されます。

B	役割と機能の追加ウィザード	_ 🗆 X
インストールの進行	状況	対象サーバー
開始する前に	インストールの進行状況の表示	
インストールの種類 サーバーの選択	インストールを開始しています	_
サーバーの役割		
位電記	.NET Framework 3.5 Features .NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む)	
結果		
	ア このウィザードを閉じてき、軍行中の処理が中断されることはありません。処理の進い	テ状況を表示したり、この
	「 ■ ベージを再度聞いたりするには、コマンドバーの「通知」をクリックし、「タスクの詳細 増成いたってなえず ト]をクリックします。
	相切ななたのエンベルート	
	<前へ(P) 次へ(N) > インス	(トール(<u>I</u>) キャンセル

Microsoft.Net Framework 3.5のインストールが完了しました。 「閉じる」をクリックしてください。

b	役割と機能の追加ウィザード	_ □ ×
インストールの進行	T状況	対象サーバー
開始する前に	インストールの進行状況の表示	
インストールの種類	() 機能のインストール	
サーバーの選択 サーバーの役割		
機能	.NET Framework 3.5 Features .NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む)	
結果		
	このウィザードを閉じても、実行中の処理が中断されることはありません。処理の進行 ページを再度開いたりするには、コマンドバーの [通知] をクリックし、[タスクの詳細]	「状況を表示したり、この 」をクリックします。
	構成設定のエクスポート	
	<前へ(<u>P</u>) 次へ(<u>N</u>) > 関	103 +77211